

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成27年2月6日
【四半期会計期間】	第17期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社トランスジェニック
【英訳名】	TRANS GENIC INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福永 健司
【本店の所在の場所】	熊本県熊本市中央区九品寺二丁目1番24号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	福岡県福岡市中央区天神二丁目3-36（福岡オフィス）
【電話番号】	（092二 魏帳豎 辻頒 脣 坎 誕 齋 數 鏑

2【事業の内容】

ジェノミクス事業

ジェノミクス事業におきましては、遺伝子改変マウス作製受託サービスが堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は186,902千円（前年同期183,121千円）と増収になりましたものの、受託体制強化に伴う営業費用の増加により営業利益は18,654千円（前年同期27,257千円）にとどまりました。

CRO（Contract Research Organization 医薬品開発業務受託機関）事業

平成26年4月に当社CRO事業を子会社である株式会社新薬リサーチセンターへ事業譲渡し、営業体制の強化を図った結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は362,697千円（前年同期360,644千円）と小幅ながらも増収となり、営業損失につきましては、事業運営効率化により21,700千円（前年同期は営業損失92,395千円）と大幅な改善となっております。受注活動は引き続き好調を維持しており、当第3四半期連結会計期間末繰越受注残高は420,922千円（前年同期比101,184千円増加）となっております。

先端医療事業

当事業では、遺伝子解析受託サービス、抗体作製受託サービス及び抗体試薬販売を行っております。売上高については、前第2四半期連結会計期間より株式会社ジェネティックラボを連結の範囲に加えたことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は324,383千円（前年同期271,461千円）と増収となりましたが、当社及び株式会社プライムイオンにおける抗体製品販売が不調であったことから、営業損益につきましては営業利益1,341千円（前年同期18,578千円）にとどまりました。

病理診断事業

当事業は前第2四半期連結会計期間より連結の範囲に加えた株式会社ジェネティックラボの中核事業であり、病理専門医による組織病理学的解析及び最新のバイオマーカー解析技術 范 疇 狎 ざ 惹 耀

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、34,145千円（前年同期31,405千円）であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

|

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

（平成26年12月31日現在）

--	--	--

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

前第3四半期連結累計期間
E05317)

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

